

各位

令和元年8月10日(土)にANAクラウンプラザホテル宇部におきまして「第12回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会」を開催いたしました。
連日の猛暑の中ご参加、ご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

本学術集会ではメインテーマを「しなやかな栄養療法—原点から未来へ—」とし、病院診療から在宅療養へと視野を広げてセッションを企画致しました。お盆の連休初日にもかかわらず、300人をこえる多数の方々にご参加いただきありがとうございました。

タイトなスケジュールの中、各会場とも充実した講演・発表・活発な討論が行われ、実り豊かな学術集会となりました。特に、『地域医療と在宅』をテーマとした「ワークショップ」では病院から地域への診療連携をシームレスに行うための工夫が発表され大変盛況でした。

また、「特別講演」では東邦大学医療センター佐倉病院 糖尿病内分泌代謝センター准教授の齋木厚人先生に肥満症診療についてご講演いただきました。心理社会的問題を抱える患者へのチーム医療として、管理栄養士がいかに患者に近く、重要なポジションを占めているかということを中心に示唆に富むしかも実践的なご講演を賜りました。

令和最初の本会の成果が実践に応用され、栄養チームの発展につながることを願ってやみません。

最後に、共催いただきました企業の方々、展示・広告としてご支援を頂きました方々、また準備にご尽力下さった世話人の先生や事務局の方々、会期中スタッフとしてご活躍頂きました全ての方々に重ねて厚くお礼申し上げます。

第12回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会
会長 内田 耕一